

【羊ヶ丘病院の“今”をお知らせ】



平成27年度 院内研究発表会開催しました

NEWS

2015年12月25日（金）午後、外来・リハビリテーションを休診とさせて頂き、「平成27年度 院内研究発表会」を開催しました。当院は「学習型病院」を「職員心得」に掲げ、日頃の臨床結果や改善点等を学術発表しています。今回は医師2名、看護部4名、リハビリテーション科2名、放射線科1名、検査科1名、医事課1名の計11名が発表致しました。



「当院下肢静脈エコー検査における
深部静脈血栓症発生率と危険因子」（検査科 武田）



「誤記の減少に向けた新しい手術室コスト表の作成」
（手術室メディカルアシスタント 館田）



「整形領域 CT における面内空間分解能から見た
再構成関数の検討」（放射線科 佐々木）



「鏡視下肩腱板修復術を受ける患者の看護の質の向上を
目指したプロトコルの作成」（4階病棟看護師 丹羽）



「入院費概算書の有効性について」(医事課 細川)



「腱板断裂手術例の対側の腱板評価」(阿部真行医師)



「“寝たきり”予防としてのノルディックウォーキングの
すすめ」(札幌医大 石井清一名誉教授)



「入院案内における DVD 使用方法の再検討と実践報
告」(外来看護師 後藤)



「内側型膝 OA 患者に対するノルディックウォーキング
時下肢筋活動～膝 OA 重症度との関連性～」
(リハビリテーション科 上野)



「人工関節置換術後の日常生活動作拡大に向けた病棟
トレーニングの導入とその効果」
(3 階病棟看護師 阿部)



「恐怖回避思考が鏡視下腱板修復術後1ヶ月の肩関節屈曲角度、運動時痛に影響を及ぼすか？」
(リハビリテーション科 鹿内)



「外反母趾における第1趾列の回内変形に関する検討」
(丸山和典医師)



質疑応答も活発に交わされました！



倉理事長より開会の辞の様子



閉会の辞は岡村院長より



審査員を勤めて頂いた札幌医大石井名誉教授の講演の様子

審査員をお勤め頂いた札幌医大 石井清一名誉教授には「“寝たきり”予防としてのノルディックウォーキングのすすめ」と題した講演をして頂きました。ノルディックウォーキングの実演を交えながら貴重なお話をして頂きました。ありがとうございました。当院では今後も各職員が常に最善の医療を提供できるよう、このような研究発表会を行っていきたいと思っております。